

| 科目名         |     |                 | 担当教員   |      |
|-------------|-----|-----------------|--------|------|
| カウンセリングⅡ    |     |                 | 中村 恵子  |      |
| 科目コード       | 単位数 | スクーリング単位        | 履修方法   | 配当年次 |
| FG2683      | 1   | 1               | S (講義) | 1年以上 |
| 生成 AI 利用レベル |     | 試験（スクーリング含む）： C |        |      |



※「カウンセリングⅠ・Ⅱ」の履修の順序の指定はありません。Ⅰ・Ⅱのいずれを先に受けても構いません。

## 科目の概要

### ■科目の内容

カウンセリングの目的は、問題解決にあります。カウンセラーは、質問と応答によって面接の流れをコントロールし、問題解決をマネジメントします。本講義では、心の葛藤を読み解き、問題解決を目指して開発されてきた基本的なカウンセリング技法を学び、問題解決の本質にフォーカスします。

### ■到達目標

- 1) カウンセリングの意義と役割を説明できる。
- 2) 心の葛藤に対する焦点の当て方を説明できる。
- 3) 問題行動に対する焦点の当て方を説明できる。

### ■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人間理解力」「実証的分析力」を身につけてほしい。

### ■教科書・参考図書

#### 【教科書】

（スクーリング時の教科書）スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

#### 【参考図書】

中村恵子著『認知行動療法のストラテジー』ナカニシヤ出版、2023年

### ■スクーリング講義内容

| 回数 | テーマ              | 内容                         |
|----|------------------|----------------------------|
| 1  | カウンセリングの基本的技法（1） | 傾聴とあいづち技法                  |
| 2  | カウンセリングの基本的技法（2） | ミラー、ポジティブフィードバック、リフレイミング技法 |
| 3  | 精神分析の誕生          | フロイトと精神分析                  |
| 4  | 人間主義心理学の誕生       | 来談者中心療法・ゲシュタルト・セラピー        |
| 5  | 行動主義心理学の誕生       | パブロフから発展した行動療法             |
| 6  | 認知行動療法の誕生        | 認知療法の誕生と行動療法との出会い          |
| 7  | 認知行動療法の実際①       | 自動思考の解除と誤学習の修正             |
| 8  | 認知行動療法の実際②       | 不安の拮抗制止と環境調整               |
| 9  | スクーリング試験         |                            |

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

#### ■講義の進め方

---

講義と演習を中心にグループで学習を進めます。

#### ■スクーリング 評価基準

---

授業への参加態度 30% + スクーリング試験 70%（持込可、論述式）

#### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

---

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

#### ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

---

授業で提示される参考図書を学習してください。